学校番号	３２２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次 （普通科文系）
使用教科書	なし						
副教材等	新課程　教科書傍用　３ＴＲＩＡＬ　数学Ⅱ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では，教科書を用いて基本事項の解説および問題演習を行います。
・授業中は，自ら考えるとともに，周りの人と協働して考えることを積極的に行ってください。
・練習問題に取り組む中で，自らの考えを発表する，周りの人と議論をする時間を作っていきます。
・わからない内容は決してそのままにせず，その場もしくはその日の内に質問し，理解して終える習慣を身に付けていきましょう。
・定期考査時や長期休暇時は問題集を解いたノートの提出を課します。途中式や自分なりに考えた大事なポイントを記載すること、問題によっては正しい論述をすることにも取り組んでください。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

三角関数，指数関数，対数関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	三角関数，指数関数，対数関数及び微分･積分の考えについての基本的な概念や原理･法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現･処理したりする技能を身に付けている。	関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	三角関数	1．三角関数を含む方程式，不等式 2．加法定理 3．加法定理の応用	a:三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解している。三角関数の加法定理について理解している。 b:三角関数を含む方程式・不等式を解く際に，単位円やグラフを図示して考察することができる。三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 c:事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト 課題プリント	定期考査 課題プリント 発表	観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表
	指数関数	1. 指数の拡張 2. 指数関数	a:指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し，指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 b:指数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察することができる。 c:事象を指数関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト 課題プリント	定期考査 課題プリント 発表	観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表
2学期	対数関数	1. 対数とその性質 2. 対数関数 3. 常用対数	a:対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすることができる。対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 b:対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察することができる。 c:事象を対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト 課題プリント	定期考査 課題プリント 発表	観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表

	微分法	1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式 4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用	a:微分係数や導関数の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めることができる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解している。 b:関数とその導関数との関係について考察することができる。 c:事象を微分法の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト 課題プリント	定期考査 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表
3学期	積分法	1. 不定積分 2. 定積分 3. 定積分と面積	a:不定積分及び定積分の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の不定積分の値を求めることができる。 b:微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 c:事象を積分法の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト 課題プリント	定期考査 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度